



特定不妊治療費を助成します



少子化対策の一環として、不妊治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減を図ることを目的に、特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）に要する費用の一部を助成します。

〈対象者〉 次の要件をすべて満たす方

- ①北海道特定不妊治療費助成事業の助成が決定している方
- ②夫婦または夫婦のいずれかが町内に住所を有する方
- ③夫婦ともに町税等に滞納がない方

〈助成額・回数〉 特定不妊治療に要した自己負担額から、北海道から受けた助成額を差し引いた額について助成します。

- ・ 1回の治療につき10万円を上限に助成
- ・ 助成回数は、北海道特定不妊治療費助成事業で定められた回数とします。
（初めて助成を受ける際の治療開始時の妻の年齢が40歳未満の場合6回、40歳以上43歳未満の場合3回）

〈必要な書類等〉 ①北海道特定不妊治療助成事業の助成決定指令書の写し

- ②特定不妊治療費助成事業受診等証明書の写し
 - ③医療機関が発行した領収書
 - ④夫婦の住民票
 - ⑤（夫婦のいずれかが町外に住所を有する場合）
他市町村での市町村民税等の滞納がないことを確認できる書類（納税証明書等）
 - ⑥印鑑
 - ⑦振込口座の番号、名義人がわかるもの
- ※②～④は、北海道の助成事業申請時に添付した書類の写しでかまいません。

〈申請窓口〉 日高町役場 健康増進課、日高総合支所 地域住民課、水・くらしサービスセンター、厚賀出張所

〈お問い合わせ先〉 日高町役場 健康増進課 健康増進グループ 電話 01456-2-6571
 日高総合支所 地域住民課 健康・介護グループ 電話 01457-6-3173

町の保健推進員さんのおいしいレシピ紹介

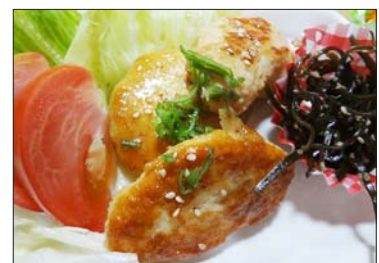
料理上手な保健推進員さんたちの自慢のメニューを皆様にご紹介します。

第2回目は8月のクッキングサークルで厚賀地区の保健推進員さん方が調理したメニューの1つです。

鶏胸肉と豆腐のつくね（8～10個分）

▼材料

- 鶏胸肉1枚（300g）、木綿豆腐100g
- ・ A（生姜チューブ3～4cm、パン粉大さじ3、酒大さじ3、マヨネーズ大さじ1、片栗粉大さじ2、塩こしょう少々）
- ・ ごま油
- ・ つくねのたれ（酒・しょうゆ・みりん・砂糖各大さじ1、はちみつ大さじ1/2、オイスターソース）



▼作り方

- ①胸肉は包丁で切ったりたたいたりして細かく刻む。
 - ②ボウルに①と水切りした豆腐とAの材料を入れ、よく混ぜ合わせる。
 - ③フライパンにごま油を熱して②の形を整えて焼いていく。
 - ④火が通ったら、つくねのたれを回しかけ、つくねにかけながら煮つめて、好みのとろみになったらできあがり。
- ※お好みでネギやパセリ、大葉などを散らしてもよいです。

むかわ町・日高町・平取町の3町による広域の観光圏の形成を目指して

わ く わ く 鶴川・沙流川WAKUWAKU協議会

むかわ町、日高町、平取町の3町で構成する鶴川・沙流川WAKUWAKU協議会では、昨年度に続き、広域観光圏の具体化に向けた事業に取り組んでいます。今年度の実施事業についてお知らせします。

◆回遊ルート型等ツアーの実施

札幌都市圏のお客様を対象とし、3町の地域資源をもとに魅力をアピールした全6回のツアーを実施しました。豊かな自然を活かしたエコウォークや釣り堀体験、競馬を見ながらバケツジンギスカンの夕食など、様々なプログラムに皆さん満足しておられました。

今後も多くの方々に地域を訪れていただけるようにしていきたいと思えます。



「沙流川美石ハンティング」の体験プログラム



特産品開発商品の試験販売
(門別ししゃも祭り)

◆流域特産品の開発

昨年度の事業で日高町に導入した乾燥機を用いた乾燥野菜や平取町に導入したレーザー加工機を用いたクラフトなど、3町ならではの特産品開発を進めています。3町の町民によるワーキングチームの意見を反映した試作品を3町のイベント等を使って試験販売を行い、アンケートを実施して、お客様の評価を試作品に生かしています。また、3町をアピールするロゴマークのデザイン化も行い、パッケージ等に使用したいと考えています。

◆DMO等設立支援

広域観光圏の形成を具体的に進めていくために、例えば、どのようなお客様が何人くらい、いつ、どこから、どんな方法で3町を訪れていて、どんなことに興味を持っているのかというような調査を統一した方法で継続的に行い、来訪者を増やす方策の検討や、地域に経済的な波及効果が生まれるような特産品やプログラム開発の企画、地域情報の収集や発信などを行う実施体制のことをDMOと呼んでいます。これまでに先進地調査やDMOに関する情報収集をふまえて、今後の広域的な観光地域づくりの方向性を示す鶴川・沙流川WAKUWAKUビジョンを作成し、現在、DMOの具体的な組織化に向けた検討を行っています。



富良野・美瑛広域観光センターの視察

◆鶴川・沙流川WAKUWAKU協議会の体制

構成団体の代表者による協議会、実務担当者による運営委員会、町民参加による流域活性化地域検討会、役場担当者による計画策定部会で協議しながら、事業を進めています。3月にはシンポジウムを予定しており、協議会ホームページ (<http://mukawa-sarugawa-wakuwaku.jp/>) に事業の実施経過を掲載していく予定です。

《お問い合わせ先》

鶴川・沙流川WAKUWAKU（わくわく）協議会事務局
平取町役場 観光商工課 電話 01457-3-7703